

骨粗しょう症やがんの治療で骨を強くするための薬の投与を受けている患者の方々へ

●骨粗しょう症などに有効なビスホスホネート系製剤

最近、骨粗しょう症の治療やがんの骨転移の治療で骨を強くするための薬（ビスホスホネート系製剤）を飲んだり、注射をしてもらっている方が沢山いらっしゃいます。この薬は骨の吸収が進んでいく病気にたいへん良く効くお薬で、長時間継続的に投与することで骨密度が増え、骨が強くなり、骨折の予防になると共に、それらに伴う骨の痛みも軽くなります。このようにビスホスホネート系製剤は大変有用であり、さらに骨のみに取り込まれるため副作用もほとんど心配ありません。

●歯科治療にかかる際の注意点

ところが歯科での抜歯などの処置の後にあごの骨に異常が生じるという副作用が増えてきています。これは抜いたところの治りが悪くなり、骨の露出、痛みや腫れ、しびれ感が生じたり、感染により膿が出たりし、抜いたあとが治らなくなってしまう「顎骨壊死」という状態です。この副作用は今のところ注射による血管内投与を受けているがん患者の方に多く、お口の中の汚れの状態に影響を受けることも分かってきました。飲み薬ではまだ少ないのですが可能性がないわけではありません。

●まずは担当医の先生に相談を

今現在、顎骨壊死に対する有効的な治療はないとされていますが、歯科治療における外科的処置をできるだけ回避するようにしたり、処置をする前に口腔内の状態をできるだけきれいにしておく事や、処置前に抗菌剤の投与をしておく事で発症を予防できると考えられています。

現在ビスホスホネート系製剤の投与を受けている方は、歯科治療を受ける際に必ず担当医に伝えてください。



国民医療の充実・改善をめざす

三重県保険医協会

津市観音寺町429-13
TEL:059-225-1071

ホームページ <http://mie-hok.org> Eメール doctor@mie-hok.org